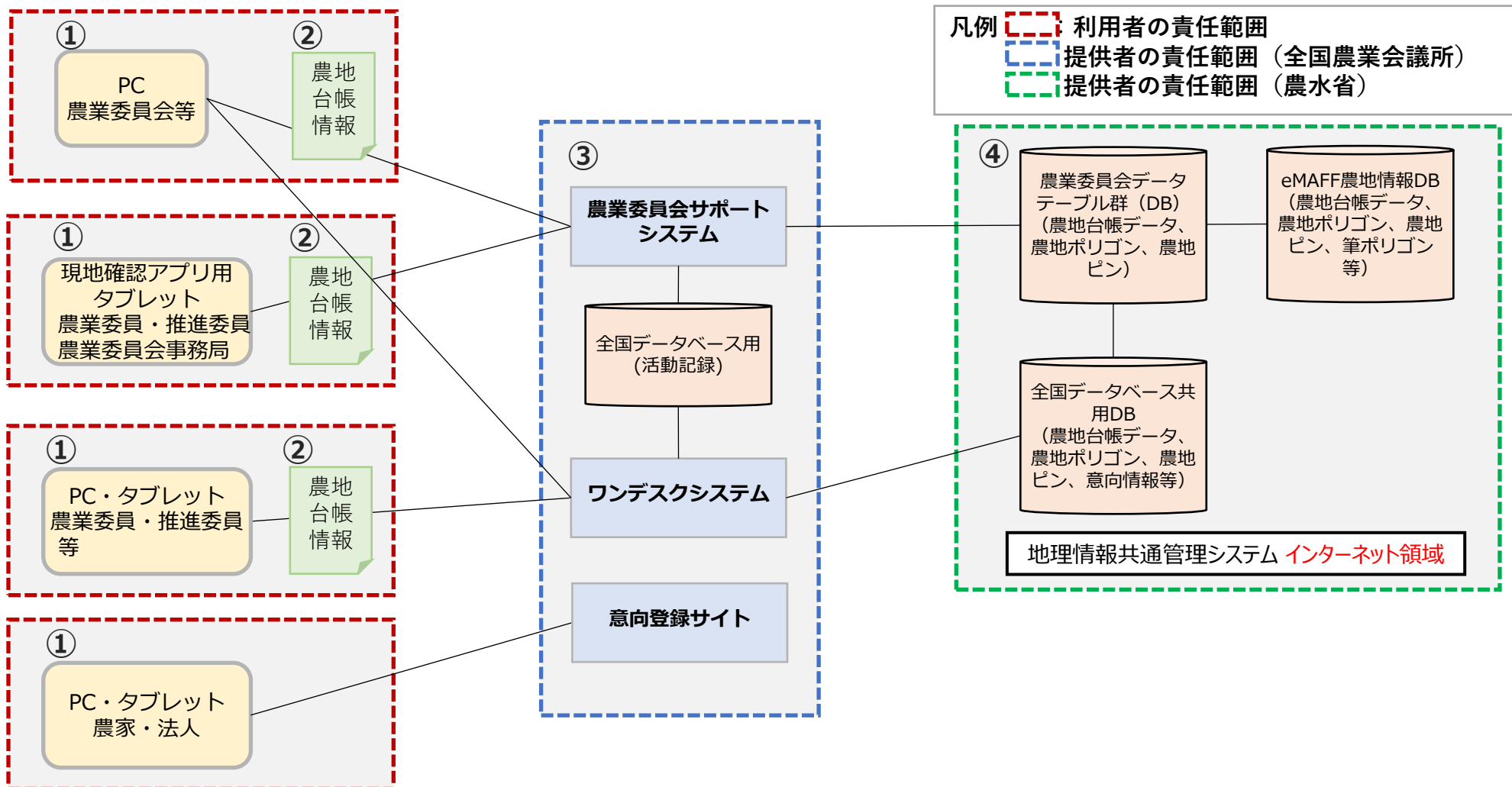


農業委員会サポートシステム・全国データベース・地理情報共通管理システムの責任分界点

下記の赤枠線が起因となるセキュリティ事故が利用者の責任となる。（その他は、全国農業会議所、農水省の責任）
 農業委員会サポートシステムで利用するデータは、インターネット上の「地理情報共通管理システム」のデータベースへ格納されます。
 農業委員会サポートシステムの管理は、全国農業会議所が行い、インターネット上のデータベース管理は農林水産省が行います。
 格納する農地台帳情報（データ）については「農業委員会」の管理範囲となります。



農業委員会サポートシステム・全国データベース・地理情報共通管理システムの責任分界点

下記の赤枠線が起因となるセキュリティ事故が利用者の責任となる。（その他は、全国農業会議所、農水省の責任）
農業委員会サポートシステムで利用するデータは、インターネット上の「地理情報共通管理システム」のデータベースへ格納されます。
農業委員会サポートシステムの管理は、全国農業会議所が行い、インターネット上のデータベース管理は農林水産省が行います。
格納する農地台帳情報（データ）については「農業委員会」の管理範囲となります。

分類	発生箇所	図の番号	セキュリティ事故例
利用者もしくは利用者組織管轄の責任となるセキュリティ事故	端末	①	● 利用者拠点の端末におけるウイルス対策、ソフトウェアバージョンアップ対応漏れ等のセキュリティ対策の不備による農業委員会サポートシステムからダウンロードした農地台帳情報等の情報漏洩 ● 農業委員会サポートシステムのログイン情報を推測され、システムを不正利用されることによるシステムが保持する農地台帳情報等の情報漏洩 ● タブレット紛失による不正利用されることにより、農地台帳情報等の情報漏洩
利用者もしくは利用者組織管轄の責任となるセキュリティ事故	データ内容	②	● 入力作業のミスにより、公開されるデータ項目に対して、公開されてはいけないデータ項目が含まれることによる情報漏洩
利用者もしくは利用者組織管轄の責任とならないセキュリティ事故	システム	③	● 農業委員会サポートシステム及び構築しているクラウド環境に対する第三者からの攻撃等によるシステムが保持する農地台帳情報等の情報漏洩 ● 農業委員会サポートシステムの運用・保守事業者のオペレーション不備によるシステムが保持する農地台帳情報等の情報漏洩
利用者もしくは利用者組織管轄の責任とならないセキュリティ事故	Azureクラウド	④	● 地理情報共通管理システムを構築しているクラウド環境に対する第三者からの攻撃等によるシステムが保持する農地台帳情報等の情報漏洩